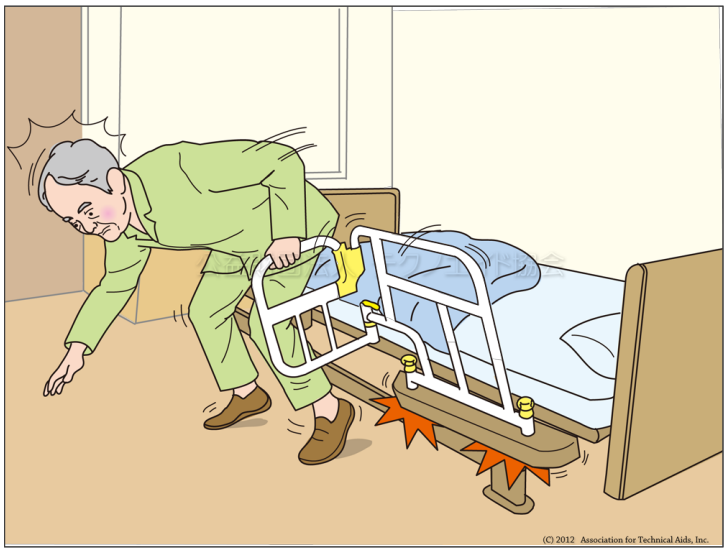
Case：46

ベッド用グリップにガタツキが生じ、利用者がバランスを崩し、転倒しそうになる

場面の説明

差し込み口のねじがゆるみ、ベッド用グリップをつかんだ際、前のめりになった



利用シーン	起居・就寝 立ち座り
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイド・レール，ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ベッド用グリップを差し込む受け口は、日常的に取り外しなどのねじの操作をする部分ではありませんが、使用頻度などの条件によってはねじがゆるむことも考えられます。また、設置時のねじの締め忘れも考えられます。ちょっとしたガタツキでも気になる点があれば、メンテナンスを依頼するよう心がけてください。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ガタツキが生じていることに気づかない
モノ：使用によって緩みやすい構造のネジであった
管理：定期的に締め付け具合等を確認する約束事が作られていない

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：46

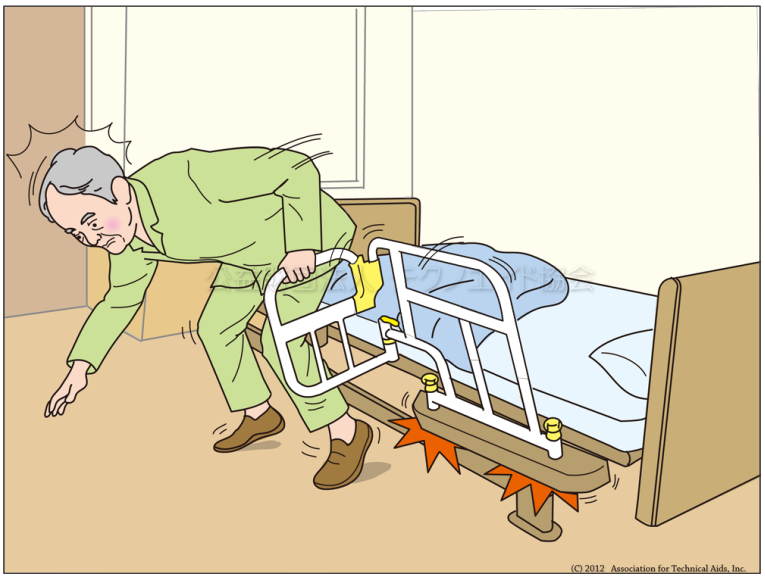
ベッド用グリップにガタツキが生じ、利用者がバランスを崩し、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

差し込み口のねじがゆるみ、ベッド用グリップをつかんだ際、前のめりになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.